

# 制限という自由

シリーズ～神の知恵～  
2019/6/9

人生を生き抜く神の知恵

ティモシー・ケラー

～三浦グリーンシヤベル訳～

前半

<1月1日～6月30日>

God's Wisdom for Navigating Life

Timothy Keller

With Kathy Keller

# 7つの大罪 4/28~6/12

---

- ◎ 怒り 4/28~5/5
- ◎ ねたみ 5/6~5/8
- ◎ 高慢(傲慢) 5/9~5/22
- ◎ 暴飲暴食 5/23~5/25
- ◎ 怠惰 5/26~6/2
- ◎ 貪欲 6/3~6/5
- ◎ 情欲 6/6~6/12

# 暴飲暴食①

快樂を愛する者は欠乏に陥り／酒と香油を愛する者は富むことがない。(21: 17)

- ◎ 「快樂」(楽しみ)は人生に不可欠である
  - ・ 美食・飲酒・娯楽・音楽・旅行・スポーツ・美容…
  - ・ 聖書は人生を楽しむことを否定しない!
- ◎ 問題はそれらを「愛する(執着する)」こと
  - ・ 後回しにできない
  - ・ ないと生きていけない>依存症
- ◎ 快樂を無制限に駆り立てる社会
  - ・ 経済至上主義の大罪!

## 暴飲暴食②

酒は不遜、強い酒は騒ぎ。酔う者が知恵を得ることはない。(20:1)

### ◎ 聖書は飲酒を禁じていない

- ・ キリストは最初の奇跡は水をワインに変えた!
- ・ 聖餐式は本来ワインで行う

### ◎ 酒は「あざけるもの」

- ・ 「自己抑制の安全装置を除いてしまおう」TK
- ・ 飲み過ぎると健康と経済を害する

### ◎ 「両価性の評価」基準を持っているか

- ・ 自分では決して決められない > 人の意見を聞こう

# 貪欲①

富に依存する者は倒れる。神に従う人は木の葉のように  
茂る。(11:28)

## ◎ 聖書は富や利益を産むことを禁じていない

- ・「主なる神は人を連れて来て、エデンの園に住まわせ、人がそこを耕し、守るようにされた。」

## ◎ 貪欲のしるし

- ・「道徳的原則よりも富を優先すること」TK
- ・「富を楽しむだけでなく富に信頼してしまうこと」

## ◎ 貪欲は人生を不安定にする

- ・経済の上がり下がりが幸せのバロメーターになる

## 貪欲②

財宝を多く持って恐怖のうちにあるよりは／乏しくても主を畏れる方がよい。(15:16)

### ◎ 富は正常な判断力を奪う

- ・「あなたがたは、神と富(マモン／金の神様)とに仕えることはできない。」

### ◎ 与えられているもので満足できるか

- ・とりあえず今生きていることを感謝しよう!
- ・富はあなたの将来の幸せを保証しない!

### ◎ 喜んで手放せるかどうか

- ・「金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。」マタイ19:24

# 情欲①

主なる神は言われた。「人が独りでいるのは良くない。彼に合う助ける者を造ろう。」(創世記2:18)

## ◎ 聖書は性的関係を祝福している

- ・ 神は人間を夫婦として創造され、性的関係によって種を維持し、増殖するようにされた

## ◎ 結婚以外の性的関係を禁じている

- ・ 「姦淫してはならない。」十戒・第7戒

## ◎ 性は結婚関係の一部として許されている

- ・ 「性的な結びつきは、他のあらゆる結びつき—法的、社会的、経済的、私的—を分かち合う夫婦の間でのみ行われるべきなのです」TK

## 情欲②

彼女の美しさを心に慕うな。そのまなざしのとりこになるな。(6:25)

### ◎ 情欲とは異性を道具として欲すること

- ・「男性が求めているのは女性ではない。彼は快楽を求めているのであって、(美しい)女性は自分の目的のために欠かせない機械の部品に過ぎない。」

C.S.ルイス

### ◎ 氾濫するポルノ情報の危険

- ・女性を商品化し、女性に対する間違った価値観を植え付け、最終的に結婚そのものを破壊する



# 制限という自由

- ◎ **神は人生を楽しむことを許された**
  - ・ 聖書は苦行禁欲を推奨しない
- ◎ **しかし、創造の秩序に背いてはならない**
  - ・ 「自己に制限を課し…そして人間関係や宇宙の制限を意識して受け入れることは、聖書の知恵の原点である。」TK
- ◎ **正しい制限を身に着けてこそ自由になれる**
  - ・ 「制御を学ばなければ、自由の奥義を学ぶことは誰にもできない」ボンヘッファー

# 制限によって自由を与えた方

キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。(フィリピ2:6-8)

- ◎ 制限のない方が「**無**」と呼ぶべき制限を自らに課せられた
- ◎ その制限によって「**死**」という自由を得られた
- ◎ その死を人類の罪の贖いのために用いられた
- ◎ 彼の死によって私たちは**永遠の自由**を得た!